

労使研

労使関係研究協会

〒105-0014
東京都港区芝2-20-12
友愛会館9階
一般財団法人日本労働会館内
TEL.03-3453-5386
FAX.03-3451-1710
<http://roshiken.net/>
roshiken@rodokaikan.org

「情報」第68号 2025年9月

友愛会創立を記念する会

113周年・第60回記念式典・祝賀会、133人が参加

「友愛会創立を記念する会」は1965年、友愛会・総同盟関係者33人の発起人が呼びかけて初めて開かれました。以来毎年8月1日に開催。今年も8月1日（金）午前11時から、来賓、支援団体、個人会員、招待者など115人の参加を得て行われました（会長；高倉 明、後援；連合）。

記念式典は、西尾多聞（UAゼンセン書記長）事務局長の司会で始まり、物故者への黙とう、主催者代表挨拶、来賓祝辞（連合、政策研究フォーラム、民社協会。ご祝辞概要は次ページ）と続き、永島智子（UAゼンセン会長）副会長の乾杯発声で開宴、和やかな歓談のひと時を持ちました。

また、会場では戦前から女性運動家として活躍した「赤松常子」の没後60年の展示コーナーも設置され、参加者の皆さんが興味深く資料に目を通していました。

支援団体は、海員組合、基幹労連、基金労組、交通労連、JP労組、自治労連、電力総連、日産労連、UAゼンセン、味の素労組、JX金属労組、凸版労組、三菱自工労組、（株）友愛会館、（一財）日本労働会館の15団体。



主催者代表あいさつ

友愛会創立を記念する会 壬生守也副会長（電力総連会長）

暑い中、またお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。
私は関西電力出身で、奈良県生まれで奈良に配属になった。当時、奈良の労働運動は非常に盛んで、関西電力では奈良県に2人の国会議員がおられた。参議院は向井長年さん、衆議院議員に吉田之久さん、同じ職場に2人議員がいて、向井さんは昭和45年の選挙（全国区）で70万を超える票を獲り、当選の翌日に逝去されたことなど、私も入社当時から選挙ばかりやっていた記憶がある。

先日、参議院選挙があったが、選挙活動も大きく様変わりした。昔は一軒一軒訪問して、繰り返し繰り返し、電話帳がすり切れるぐらい電話したり、電話帳を破って掛けるところがなくなるまで電話といった取り組みをしていたが、今はLINEやInstagram、FacebookなどのSNSなどが選挙活動の中心になりつつある。しかし、最後はface to faceで、しっかりと接していかなければならないことなど、諸先輩からいただいた運動の歴史を若い世代へつないでいかなければならないと痛感した。今年で昭和で換算すると100年。昭和以前生まれが7割、平成以降が3割。私達の職場でも平成生まれの執行委員が増えている。だからこそ歴史をしっかりと学び、これからの労働運動につなげていければと思っている。友愛会創立を記念する会が今後も継続して、諸先輩からいろんな歴史を学んで、それを現役が新たな気づきとして活かしていかなければならない。引き続き諸先輩にはご指導・ご鞭撻を賜るようお願いし、そして来年もぜひ元気にお会いできることを心から祈念する。



来賓祝辞（敬称略）

連合（日本労働組合総連合会） 清水秀行事務局長



連合は昨日、2年に1度の2025サマートップセミナーを行った。来週は平和行動in広島、長崎で、戦後80年、被爆80年ということで海外来賓も多く迎えて準備に追われている。今日は臨時国会も召集され、中央最賃は最終日で大詰めを迎えている。バタバタしているなか、会長の芳野は用務の関係で伺えず、私が代わりに出席させていただく。

友愛会創立を記念する会を祝して、連合を代表して心よりお祝いを申しあげたい。1912年の友愛会の創立から、今年は113年を迎えた。労働者の地位向上と、平和的かつ協調的に努力を重ねるとする創立の精神が、長い歴史を通して色あせずに今日まで引き継がれていることに、心より敬意を表したい。直近の連合の取り組みについていくつかご紹介し、友情と連帯の表明に代えたい。

一つめは、先日の第27回参議院議員選挙の取り組み。41地方連合会から51人の選挙区推薦候補、そして10人の比例代表の推薦候補を立て、それぞれ選挙区で30名、比例代表で9名の当選を勝ち取った。比例代表で残念ながら組織内1名落選というところでは忸怩たる思いがあるが、連合としては各地方連合会、構成組織とともにこの暑い夏を闘い抜いたことに御礼を申しあげたい。

1925年に普通選挙制度が始まって、今年は100年の節目の年。その年に参議院選挙が行われたというのも感慨深い。1919年の友愛会7周年大会で、友愛会の主張20項目があった。その一つに普通選挙が掲げられており、6年後に実現したことになる。それまでは高額納税者のみに与えられていた選挙権を、一般の労働者たちも同じように手にすることができた。もっともこの時は男子に限られており、不完全な形ではあった。ただ一般労働者に参政権が拡大されたことについては、友愛会の大きな功績として再評価すべきだと思う。その後労働者や農民はいわゆる無産政党を結成して、それぞれの主張を合法的に行うことができた。それから100年、今般の参議院選挙の状況をみて、当時普通選挙制度の導入に尽力された友愛会の先人の皆さんは、どのような思いを抱いているのかと考へた。民主主義を維持する責任は、脈々と続く友愛会の流れを受ける私達に課せられた重要な使命と感じている。その使命を、連合としてもしっかりと果すべく今後も精進していくことを誓いたい。

2つめは春季生活闘争について。先月の中央執行委員会で、2025春季生活闘争のまとめを行った。最終的な賃上げ率は全体で5.25%となり、2年連続で5%以上の賃上げを実現した。現場で交渉に臨んだ組合役員の皆様に敬意を表したい。一方、中小組合では昨年より0.2ポイント上回る4.65%の賃上げ率となったものの、格差拡大に歯止めをかけることができたとはまでは言えない。連合本

部としては、街頭宣伝活動や決起集会はもとより、中小労組の交渉が本格化する時期、4月に16年ぶりとなる政労会見を行い、持続的な賃上げの必要性について政府に訴えたことも、今年の特徴的な取り組みであった。こうした一つ一つの取り組みを着実に積み重ねて、持続的な賃上げの実現、格差是正を必ずや果たしていきたい。

3つめはジェンダー平等・多様性推進の取り組み。連合ではジェンダー平等推進計画を策定している。昨年秋から計画を一步進め、フェーズ2の計画期間に入っている。特徴的な取り組みとしては、トップリーダー自らがジェンダー平等の重要性を発信するという項目を設けた。裏を返せば、それすらできていない組織がまだあるという現実を突きつけたともいえる。働く女性の権利を求める女性運動家を輩出した友愛会の歴史を振り返ると、労働組合こそがジェンダー平等をめざすべきで、そのため誰がその枠割りをリードするのか。今は先輩方から逆にお叱りを受けるような、まだまだジェンダー平等が進んでいないところがあると思う。今年は男女雇用機会均等法が施行されて40年の節目にもあたる。均等法第一世代の方々が様々な苦労を積み重ねて、職場でのパイオニアとして開拓してこられた、今その職業人生を終えられる方も出始めている。努力を無駄にすることなく、ジェンダー平等の取り組みをさらに進め、具体的な行動に連合としてもつなげていきたい。

結びに、友愛会の先人の足跡を振り返り、労働運動のさらなる発展に尽くしていくことを誓い、友愛会創立を記念する会に寄せる言葉とする。

政策研究フォーラム 谷口洋志理事長



友愛会創立から113周年でこのように盛大な会が開かれることを心からお祝い申しあげたい。

政策研究フォーラムは2007年10月に友愛会につながる友愛連絡会の皆様のご支援のもとで誕生し、今年18周年となる。誕生から現在に至るまで、振り返るといろんなことがあった。発足当時に生じたリーマンショック、3年後に起きた東日本大震災。さらにコロナのパンデミック、ウクライナ戦争、ガザの人道危機。百年に1回あるかどうかということが、いくつも発生している。

地震に限っても東日本大震災、熊本、大阪、北海道福島、石川、そして最近の鹿児島トカラ列島地震。これだけ沢山のことが続いている。さらに、今年1月20日に発足した第二次トランプ政権は好き勝手な米国ファースト政策を一方的に打ち出して、世界中を混乱と当惑に巻き込んでいる。

政策研究フォーラムは2007年の発足から2年後の2009年9月に、政研フォーラムは何をする団体かという小冊子『改革者宣言 自由・公正・連帯を求めて』を刊行した。以降はとんでもない出来事が国内外で発生した。あまりにも変わり果てた世界をふまえて、改めて宣言すべきではないかということで、近々『改革者宣言2.0』というものを刊行する予定である。その中で私は総論を書かせてもらった。この分断と対立の状況だからこそ、「自由・公正・連帯」がいかに重要になっているかを強調。「自由・公正・連帯」をもっと深く考えてほしいとの意味をこめて、少し解説した。

「自由」ということでは、個人個人の基本的な権利を尊重し、そして他の方の自由と両立するかぎり最大限の自由を保障すること、これが自由の精神であると書いた。他の人と両立できるだけの最大限の自由を確保しようと言ったわけだが、この一見平凡な言い方には、実は深い意味が込められている。もし本当に他の方の自由と両立するかぎり最大限の自由と言うならば、いじめやハラスメントは否定される。ある人の立場・権利を損なうわけなので。最近流行りのXとかFacebook等では誹謗中傷や他人の悪口がたくさんある。ああいったやりたい放題の行動も制約される。なぜなら他の人の自由、権利を損なうから。この何気ない言い方の中には深い意味が込められている。

また、「平等かつ最大限の自由」という言い方は、1971年にアメリカの哲学者ロールズという人が『正義論』という本の中で展開した自由の原理の第一番目、自由の優先という考えを表現したものである。多くの人に支持されている考えではないかということで、それをベースに書いた。我々の自由がどんどん損なわれてきている現状を振り返ると、改めて自由の価値を主張する必要がある。不公正が蔓延する世界においては、公正さということを改めて主張する必要がある。

友愛会創立を記念する会がこのように盛大に開催されたことを改めてお慶び申し上げる。

民社協会 河合孝典代表（メッセージ；臨時国会召集日のため）

友愛会創立を記念する会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。本来であれば直接会場にお伺いしてごあいさつを申し上げるべきところではありますが、本日第258回臨時国会が召集され、残念ながらお伺いすることが出来ません。何卒ご容赦ください。国民民主党は6月に行われた都議会議員選挙で初めて9議席を獲得し、都政に新たな足場を築くことができました。続く7月の第27回参議院議員通常選挙でも、17名が当選し、改選3議席から4倍を超える躍進を果すことができました。比例票は762万票を超え、野党第1位となり、非改選議員を含め21名以上の体制を確立し、参議院で予算をとまなう法案を単独提出できる力を得ました。国民民主党は今後も「対決より解決」の姿勢を貫き、各政党とも等距離で政策ごとに是々非々で臨み、国民の皆様にお約束した公約の実現に邁進してまいります。

結びに、友愛会創立を記念する会のさらなるご発展と、ご参会の皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げ、ごあいさつといたします。額に汗して働く仲間を守り地位向上する、相愛扶助の友愛会の精神を、国会の中で体现していきます。



乾杯
永島智子副会長



司会
西尾多聞事務局長



◆歴史館を届けます◆

全国出張講演の実施について

友愛労働歴史館は、友愛会創立100周年の2012年8月1日に新装オープンした友愛会系労働運動、社会運動に関する歴史資料館です。

友愛労働歴史館は、労使研会員組織を対象に、①友愛会以来の日本労働運動、②友愛会ゆかりの政治活動、③ユニテリアンゆかりの社会運動、に関する史料館をめざしています。新規事業として、今年度から常設展示「日本労働運動の100年余」の歴史を広く知らしめることを目的に「出張講演」も積極的に行っています。

時間や講演内容については、以下の例を参考に、ご相談ください。

[定番コース]

①60分コース＜基礎簡潔編・一般向き、職場役員及び執行委員向き＞

ようこそ友愛労働歴史館へ（日本労働運動発祥の地）

第一部 労働運動前史 福澤諭吉とユニテリアン

第二部 戦前の労働運動 1897年（明治30年）～1940年（昭和15年）

第三部 戦後の労働運動 1946年（昭和21年）～

第四部 友愛会、鈴木文治・松岡駒吉のメッセージ

②90分コース＜基礎編・執行委員及び職場役員向き＞

常設展示スライド使用「日本労働運動の100年余」

①の詳細版

③90分コース＜詳細編・執行委員向き＞

日本労働運動の100年余から民主的労働運動を探る

②の詳細版

[オプションコース]

A生産性運動三原則 20～30分

Bリーダーシップ論の基礎 20～30分

C労使関係論（コーポレートガバナンス）

D労働組合にとってなぜ政治が必要なのか 60分以上

会員対象の講師料は無料、旅費交通費は財団で負担します。

日程・講演内容等については、早めにご相談ください。

Tel. 03-3453-5386



友愛労働歴史館メール



お知らせ

◆労使関係研究協会の担当者交代

労使関係研究協会の事務局長が本年 7 月に交代しました。

新：小嶋 正弘

旧：滑川 太一

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

◆友愛労働歴史館の電話番号変更

友愛労働歴史館の電話番号が変更になりました。
労使関係研究協会と同一の番号です。

TEL 03-3453-5386

東京観光・出張・研修・受験の宿泊は
ローズステイ東京芝公園をご利用ください
(旧三田会館)



ローズステイ東京芝公園
公式WEBページ